

V227a **スペースデブリをとらえる DEBDAS 地上可視観測網の構築**

山岡均、花田俊也、吉川顕正 (九州大学)、北澤幸人 (IHI)、柳沢俊史 (JAXA)

九州大学国際宇宙天気科学・教育センター (ICSWSE) では、スペースデブリ 3 次元観測網 DEBDAS (DEBris Data Acquisition System) の構築を構想している。地上および複数機の衛星からなる観測網を整備し、デブリ環境予測技術の確立を目指すものである。

地上観測網は、メインとなる 0.5m ~ 1.0m クラスの光学望遠鏡を九州大学内に設置し、サテライトとして ICSWSE の前身である宙空環境研究センターが構築した、全球地磁気ネットワーク MAGDAS の連携拠点を活用する。特に、地磁気赤道付近に点在する複数の拠点に光学望遠鏡を設置し、現地の協力者およびネットワーク越しのリモート運用での観測を企図している。静止軌道デブリはある経度付近でのみ観測可能であり、その総数推定には、全球規模に観測拠点を展開することが不可欠である。

また、観測拠点での科学・宇宙環境保全活動の振興や、現地での宇宙科学・天文学教育に資することも重要な目的である。講演では、システム構築の現況を紹介し、小惑星サーベイや他の計画での観測網構築との協力・相補態勢を議論する。